

ZENKOREN

全広連

2026 WINTER Vol.1116



全広連

2026年1月5日発行／1、4、7、10月の5日発行／通巻1116号／昭和39年2月12日第3種郵便物認可
発行／公益社団法人全日本広告連盟 〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目14番5号 光澤堂GINZAビル3F 電話03-3569-3566

定価450円（購読料は会費に含む）
www.ad-zenkoren.org

Special Report

第74回全日本広告連盟静岡大会ご案内



公益社団法人
全日本広告連盟
JAPAN ADVERTISING FEDERATION

CONTENTS

- 2 SPECIAL REPORT 1 第74回全日本広告連盟静岡大会ご案内
- 4 SPECIAL REPORT 2 令和7年度 全広連広告大学
「AI時代のクリエイティビティ」
～変わらないこと、変わること～
- 6 謹賀新年 …… 【広告界誌上年賀会】
- 12 …… 第5回「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」のご案内
- 13 …… ADFEST 2026をタイ・パタヤで開催
- 15 …… 各地広告協会の動き (東京・徳島・高知・福岡)
- 16 …… CLIP BOARD

COVER ILLUSTRATOR

本Winter 号から1年間は、Young Lotus Workshop 2025日本代表チームに表紙をデザインしていただきます! コンセプトとともに楽しみください。

アイデアを生み出す上で大切なのは、
発想に至るまでの「思考の姿勢」。
時代を超え受け継がれてきた
広告クリエイティブの考え方を、
季節のモチーフに重ねてデザインしました。

冬のモチーフは鏡餅。
ひとつひとつの餅が
重なって形を成すように、
アイデアも重なってこそ、
より豊かにふくらんでいきます。



神戸 弥宙
株電通
•コピーライター

高校卒業後、
カンボジアの工科大学へ進学。
自動運転車の開発、
人工衛星を用いたAI画像処理の研究を行う。
2023年入社。
囲碁歴20年、全国大会5位入賞。



野口 柁晴
株電通
•コミュニケーション
クリエイター
•アートディレクター

2000年生まれ。
東京藝術大学デザイン科を
主席で卒業後、株電通入社。
Future Creative Center所属。
アイデア×ビジュアライズで、
遊び心のある体験設計を行う。

第74回全日本広告連盟静岡大会ご案内

広告の可能性は十人十色

会 期:5月13日(水)・14日(木)

主会場:グランシップ ホール・大地
(静岡市駿河区)



JAPAN ADVERTISING FEDERATION
SHIZUOKA 2026



第74回全日本広告連盟静岡大会 実行委員会事務局

第74回全日本広告連盟大会を、ここ静岡の地で開催させていただくこととなりました。静岡県での開催は1996年、2010年に続いて3回目です。現在、県内の広告関係者をはじめ自治体、企業、観光団体、マスコミなどが一体となり、「オール静岡」の体制で皆さまをお迎えする準備を進めております。大会を通じて広告に携わる全国の仲間と語り合い、新たな発想とつながりが生まれることを心より願っております。

静岡の魅力と可能性

静岡県は、日本列島のほぼ中央に位置し、古くから東西を結ぶ交通・文化・経済の要衝として発展してきました。県内には、世界文化遺産である富士山をはじめ、浜名湖、駿河湾、伊豆半島など四季折々の風光明媚な自然が広がり、訪れる人々を魅了します。海と山の恵みに育まれた食文化も豊かで、うなぎ、わさび、桜えび、日本茶といった全国に誇る名産が数多くあります。

また、徳川家康公ゆかりの地としての歴史や、伝統工芸、祭りなどの文化も息づいており、人の温もりを感じられる地域です。その穏やかな気候と豊かな自然環境は、人々の暮らしと創造の礎を支えています。さらに、静岡県は日本有数の茶産地として知られ、茶文化は「人と人を結ぶ心のコミュニケーション」として県民の生活の中に根づいています。近年は海洋産業、製造業、航空宇宙など

の先端産業が集積する地域としても注目を集めています。そして、富士山の麓・裾野市では未来都市の実証実験「ウーブン・シティ」が始動し、新しい時代の息吹が感じられます。

静岡県は自然・文化・産業のあらゆる側面で“調和と挑戦”を続ける地域。東西に長い地形を生かし、個性豊かなエリアが共存していることも、この地ならではの魅力です。



市内各所に置かれた模型モニュメント(家康の金甲冑)

大会テーマは「広告の可能性は十人十色」

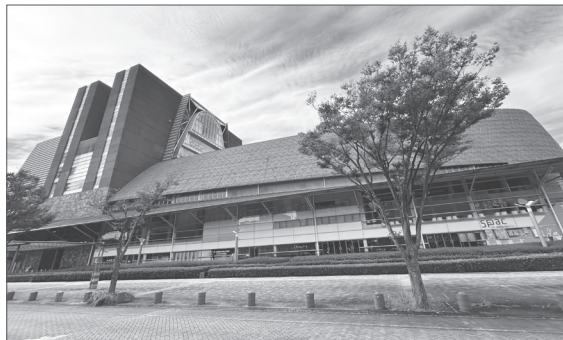
今回の大会テーマは「広告の可能性は十人十色」を掲げました。私たちを取り巻く社会は、データやAIの急速な進化によって大きな転換期を迎えています。テクノロジーが生活を便利にし、情報を瞬時に届ける一方で、人々の価値観やライフスタイルはかつてないほど多様化しています。

こうした時代だからこそ、広告の本質や役割が改めて問われています。

これまで広告は「知らせる」ことを主な目的としてきましたが、「つなげる」「続ける」さらには「育てる」「進める」へと、その使命を広げています。単なる情報の伝達を超え、社会を動かす力、未来を育む原動力としての広告のあり方が、これまで以上に重要になっています。

人を動かす言葉やデザイン、心を揺さぶるストーリーや体験。それらは一人ひとりの感性や価値観、そして経験の積み重ねから生まれるものです。だからこそ、「広告の可能性は十人十色」。広告を生み出す人の数だけ新しい視点と提案があり、その多様性こそが未来を切り拓く原動力になると考えています。

全国各地からクリエイター、マーケター、企業の発信者たちが富士の国・静岡に集い、広告という概念を俯瞰的に捉え、未来のコミュニケーションの姿を語り合い、描き出し、次の時代へとつなげていく。この大会が、そんな創造と対話の舞台となることを私たちは願っています。



記念式典会場となるグランシップ

大会プログラム

5月13日はメイン会場となるJR東静岡駅前のグランシップホール・大地(静岡市駿河区)で多彩なプログラムを展開いたします。全広連日本宣伝賞および鈴木三郎助全広連地域広告大賞の贈賞式をはじめ、明治大学教授の斎藤孝氏による記念講演など、時代の変化を読み解く貴重な機会をご用意しています。

式典の後はJR静岡駅近くのグランディエールブテークイ(静岡市葵区)に会場を移し、記念懇親会を開催いたします。クリエイティブ、テクノロジー、そして人の想いが交わる場として、広告の未来を肌で感じていただける時間にしていただければと思っています。

エクスカーショントと親睦ゴルフ会

14日には静岡市、浜松市、伊豆・三島市の3つのエクスカーショコースをご用意しました。それぞれの地域の特色を生かし、自然・産業・文化を体感できるプランを企画しています。視察や観光だけでなく、実際に体験することで静岡の多彩な魅力を五感で感じていただけることと思います。

また、親睦ゴルフ会は「富岳カントリークラブ(静岡市清水区)」で開催いたします。雄大な富士山を仰ぎ見ながらのプレーは、心に残るひとときとなることでしょう。自然の中で語らい、笑顔を交わす時間が、新たな交流のきっかけとなることを期待しています。



懇親ゴルフ会の富岳カントリークラブ
霊峰富士に向かってナイスショット!

皆さまへ

全広連大会は単なる広告関係者の集いにとどまらず、時代の節目ごとに“広告の社会的意義”を見つめ直す貴重な機会です。デジタル化が進む現代においても、広告の根底には「人と人をつなぐ力」があります。静岡の地で、それぞれの経験や視点を持ち寄り、互いに刺激し合いながら、広告の未来を語り合い、心を動かすコミュニケーションのあり方を探っていければと思います。

私たち実行委員会一同、皆さまに心から楽しんでいただけるよう、万全の準備を進めております。どうぞ静岡に足をお運びいただき、語り合い、学び合い、そしてこの地の魅力を存分に感じていただければと思います。多くの皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。

第74回全日本広告連盟静岡大会
実行委員会事務局

公益財団法人吉田秀雄記念事業財団 協賛

令和7年度 全広連広告大学 「AI時代の クリエイティビティ」 ～変わらないこと、変わること～

塾長
dentsu Japan
並河 進氏



今、「AIによって人間の仕事が代替される」というニュースがあふれています。広告やクリエイティブの仕事も、そうしたニュースと無縁ではありません。

私たちの仕事は、歴史上、いま、重要な分岐点にいるのかもしれない。

そこで、2025年の今、AI時代のクリエイティビティを模索し、学ぶ場をひらきたいと考えました。

そのひとつは、「変わらないこと」。言語化できない直感、データからは見つからないインサイト、ブランドへの愛を生み出す作り手の熱。AI時代にますます価値を増す、人間の力とはなんなのでしょうか？

もうひとつは、「変わること」。AIと人間の力の掛け合わせで生まれる、新しい発想、新しい表現。人間の限界と、AIの限界、その両方の先にある、誰もみたことのない風景はどんな風景でしょうか？

AI時代のクリエイティビティ、その姿が見えてくる、その力を掴める場にしたいと考えています。

▶全5講義のうち今号では第4回・第5回の概要をご紹介します。

第4回「AI時代の戦略プランニング」



太田 郁子氏
●Accenture Song
マネジング・ディレクター

配信中

2001年に博報堂に入社。ストラテジックプランナーとして、さまざまな企業の経営戦略、マーケティング戦略の立案や商品開発に携わる。2019年10月から博報堂ケトルの代表取締役共同CEO／エグゼクティブクリエイティブディレクターを務めた後、2022年4月から現職。パーパスやブランディングの視点を起点にした企業成長戦略、新規事業創出や、デジタルマーケティングなどに従事。

これからのマーケティングと戦略設計はどう変わっていくのでしょうか。AIがわずか数分で市場分析・ペルソナ設計・コンセプト立案までこなす時代に、「人間の戦略プランナーは何をするのか？」という根源的な問いを考え続けています。

マーケターは戦略を「考える人」から、「AIと協働する仕組みを設計する人」へ——仕事の定義そのものが変わりつつあるかもしれない今のリアルな悩みと希望を率直に語ります。

一方で、AIによる効率化が進むほど人間の「独自性」「編集力」「責任を取る力」がより重要になると考えています。たとえAIが考えた戦略であっても、事業を推進するのは人間であって、どこに価値を感じて・どう体重を乗せて事業を推進していくのか。そして、生活者自身がAIを持つ時代に、ブランドはどうすれば心を動かせるのか。

戦略・クリエイティブ・AIが交差する最前線をお話します。

講義では、太田氏からのお話に加え、並河塾長からの講義、トークセッションなども行っています！

第5回「AI時代のクリエイティブディレクション」



細田 高広氏
●TBWA\HAKUHODO
チーフ・クリエイティブ・オフィサー

配信中

TBWA\CHIAT\DAYを経て現職。KIT虎ノ門大学院客員教授。グローバル企業を中心にブランディングと広告クリエイティブのほか、事業・商品・サービスの開発までを担う。2023年より2年連続でCampaign誌より日本と韓国の「クリエイティブ・リーダー・オブ・ザ・イヤー」に選出。主要クリエイティブアワードの多くでグランプリを獲得、カンヌライオンズなど世界的な広告賞で審査員も務める。著書「コンセプトの教科書」(ダイヤモンド社)などがある。

AI時代のクリエイティブディレクションというテーマで、AIが進化するなかでクリエイティブディレクションの本質はどこにあるのかを探ります。AIの進化がものすごいスピードで進む今、多くの人が不安や脅威を感じているかもしれませんが、でも私は、AIを「補助線」として使うことで、むしろ人間の発想の本質がより鮮明になると考えています。

AIは平均的・真正面からの答えを出すのは得意ですが、横からツッコミを入れるような思考は苦手です。人間だけが持つ「問いを疑う力」や「常識をずらす発想」こそが、これからのクリエイティブに不可欠です。つまり、創造性とは前提を“疑う力”であり、私たちは「課題解決」よりも「可能性開放」のディレクションを担うべきだと考えています。

常識を疑い、新しい価値を見つけるプロセスとして、「3D思考」についてお話します。Doubt(疑う)→Discover(気づく)→Design(形にする)。この講義を通じて、皆さんが自分の中の“疑う力”を養い、クリエイティブの楽しさを発見してもらえたら嬉しく思います。

講義では、細田氏からのお話に加え、並河塾長との対談、質疑なども行っています！

全広連広告大学は現在配信中！ぜひお申込ください！

●配信期間／全5講義(各回約90分～120分)

※第6回講義は、諸般の事情により配信いたしません。何卒ご容赦ください。

全講義配信終了:2026年1月30日(金)13:00まで

●視聴方法／チケットサービスPeatix(利用無料)よりお申込ください。 全広連HPに、Peatix申込ページへのリンクを掲載しています。

●受講料／全日本広告連盟に加盟する37広告協会の

- ①会員様
- ②会員様が在籍する組織にいる方(社員の方など)は「無料」です。

●お問い合わせ／全広連広告大学事務局 daigaku@ad-zenkoren.org

ただいま公開中!
実際に視聴した方からの
反響をご紹介します!



第1回 「AI時代のコピーライティング」

▶生成AI使いこなしの基礎、「プロンプト」について学びます!

コピーライターとしてそこそこの経験を持つのですが、本当に目から鱗の講義内容でした。実はAIをあまり使ったことがないのですがこれからチャレンジしていきたいと思いました。ありがとうございました。



第2回 「AI時代のムービープランニング」

▶進化の著しい、画像・動画生成の最前線をお話します!

手探りでAIとクリエイティブの有り様を地方で模索している中、大変刺激を受けました。人間相手のディレクションに近い感覚や、アナログに戻りつつあるなど、最先端で活躍される方とも共感できる感覚が嬉しかったです。



第3回 「AI時代のエクスペリエンス」

▶AIを使こなすために人に必要な力は何かを紐解きます!

AIって自分には関係ないと思っていたのですが、講義を聞いていくにつれて考えが変わってきました。仲間としてなのか、手段としてなのか、いずれにせようまく付き合っていくのは人間だと思えますし「選ぶ」ことの重要性など、すごく勉強になりました。



第4回 「AI時代の戦略プランニング」

▶マーケティング領域で大変革が起こりつつある、最前線をお話します!

純粋に面白く、大変刺激を受け、勉強になったと同時に、現実とのあまりの差に愕然としたというのが正直なところです。AIを使っているうちにどんどん状況は変わっていて、地域の企業はお話にあったマルチエージェント時代に飲み込まれてしまうのか…数年後が想像つきません。

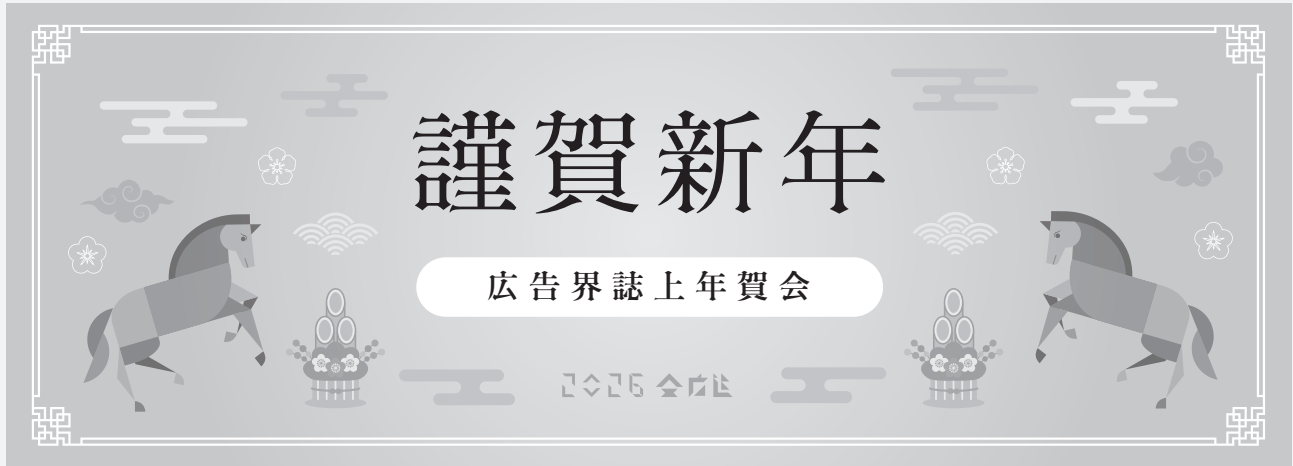


第5回 「AI時代のクリエイティブディレクション」

▶AIが苦手な領域をクリアにし、人ならではの思考力についてお話します!

「3D MODEL」感激しました。長年テレビCMなど生業にしていながら、我ながら凡庸なもののづくりしかしてこなかったと感じるのはなぜか、その理由がわかったような気がします。細田さんの語り口、具体例の示し方、お話の展開スピード、どれもとてもわかりやすく素晴らしかったです。ありがとうございました。





〈順不同〉

<div>理事長</div> <div>大 平 明</div> <div>公益社団法人 全日本広告連盟 公益社団法人 東京広告協会</div>	<div>会長</div> <div>安 田 光 春</div> <div>全 北 海 道 広 告 協 会 札幌商工会議所会頭</div>	<div>理事長</div> <div>堀 井 友 二</div> <div>全 北 海 道 広 告 協 会 ㈱北海道新聞社代表取締役社長</div>
<div>理事長</div> <div>田 中 徹</div> <div>青 森 広 告 協 会 ㈱東奥日報社代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>川 村 公 司</div> <div>岩 手 広 告 協 会 ㈱岩手日報社代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>藤 崎 三 郎 助</div> <div>仙 台 広 告 協 会 ㈱藤崎代表取締役会長兼社長 仙台商工会議所会頭</div>
<div>会長</div> <div>佐 川 博 之</div> <div>秋 田 広 告 協 会 ㈱秋田魁新報社代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>佐 藤 秀 之</div> <div>山 形 広 告 協 会 ㈱山形新聞社代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>渡 邊 博 美</div> <div>福 島 広 告 協 会 福島県商工会議所連合会会長</div>
<div>理事長</div> <div>中 元 広 之</div> <div>千 葉 広 告 協 会 ㈱千葉日報社代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>須 藤 浩 之</div> <div>横 浜 広 告 協 会 ㈱神奈川新聞社代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>廣 田 幹 人</div> <div>新 潟 広 告 協 会 新潟県商工会議所会頭</div>
<div>会長</div> <div>水 野 雅 義</div> <div>一般社団法人 長野県広告協会 一般社団法人 長野県商工会議所連合会会長</div>	<div>理事長</div> <div>北 野 淳 史</div> <div>一般社団法人 長野県広告協会 信濃毎日新聞社マーケティング局長・役員待遇</div>	<div>会長</div> <div>野 口 英 一</div> <div>山 梨 広 告 協 会 ㈱山梨日日新聞社会長兼社長 ㈱山梨放送社長</div>
<div>会長</div> <div>庵 栄 伸</div> <div>富 山 広 告 協 会 富山県商工会議所連合会会長</div>	<div>理事長</div> <div>蒲 地 誠</div> <div>富 山 広 告 協 会 ㈱北日本新聞社代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>道 上 宗 雅</div> <div>金 沢 広 告 協 会 ㈱北國新聞社取締役地域ビジネス局長</div>

〈順不同〉

<div>理事長</div> <div>吉 田 真 士</div> <div>福 井 広 告 協 会 ㈱福井新聞社代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>杉 山 幹 夫</div> <div>岐 阜 広 告 協 会 ㈱岐阜新聞社最高顧問</div>	<div>会長</div> <div>大 須 賀 紳 晃</div> <div>静 岡 県 広 告 協 会 ㈱静岡新聞社代表取締役社長 静岡放送㈱取締役社長</div>
<div>会長</div> <div>嶋 尾 正</div> <div>一般社団法人 愛知広告協会 名古屋商工会議所会頭</div>	<div>理事長</div> <div>大 島 宇 一 郎</div> <div>一般社団法人 愛知広告協会 ㈱中日新聞社代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>雑 賀 和 美</div> <div>京 都 広 告 協 会 ㈱京都新聞ホールディングス取締役 京都新聞企画事業㈱代表取締役社長</div>
<div>理事長</div> <div>土 井 健 資</div> <div>京 都 広 告 協 会 ㈱土井志ば漬本舗代表取締役社長</div>	<div>理事長</div> <div>山 田 邦 雄</div> <div>公益社団法人 大阪広告協会 ロート製薬㈱代表取締役会長</div>	<div>会長</div> <div>吉 井 満 隆</div> <div>神 戸 広 告 協 会 パンドー化学株式会社取締役会長</div>
<div>会長</div> <div>松 尾 倫 男</div> <div>山 陰 広 告 協 会 ㈱山陰中央新報社代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>松 田 正 己</div> <div>岡 山 広 告 協 会 ㈱山陽新聞社代表取締役会長</div>	<div>会長</div> <div>岡 畠 鉄 也</div> <div>広 島 広 告 協 会 ㈱中国新聞社代表取締役社長</div>
<div>会長</div> <div>池 上 治 徳</div> <div>徳 島 広 告 協 会 一般社団法人徳島新聞社理事社長</div>	<div>会長</div> <div>綾 田 裕 次 郎</div> <div>香 川 広 告 協 会 高松商工会議所会頭</div>	<div>会長</div> <div>高 橋 祐 二</div> <div>愛 媛 広 告 協 会</div>
<div>会長</div> <div>西 山 彰 一</div> <div>高 知 広 告 協 会 高知商工会議所会頭</div>	<div>会長</div> <div>柴 田 建 哉</div> <div>福 岡 広 告 協 会 ㈱西日本新聞社取締役会長</div>	<div>会長</div> <div>村 岡 安 廣</div> <div>佐 賀 広 告 協 会 ㈱村岡総本舗代表取締役社長</div>
<div>会長</div> <div>川 畑 年 弘</div> <div>長 崎 広 告 協 会 ㈱長崎国際テレビ代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>福 岡 哲 生</div> <div>熊 本 広 告 協 会 ㈱鶴屋百貨店代表取締役社長</div>	<div>会長</div> <div>池 辺 克 城</div> <div>大 分 広 告 協 会 ㈱トキハ相談役</div>
<div>会長</div> <div>米 良 充 典</div> <div>宮 崎 広 告 協 会 宮崎商工会議所会頭</div>	<div>会長</div> <div>本 坊 修</div> <div>鹿 児 島 広 告 協 会 本坊酒造㈱取締役相談役</div>	<div>会長</div> <div>金 城 克 也</div> <div>沖 縄 広 告 協 会 那覇商工会議所会頭</div>

代表取締役社長 兼 COO 小 沼 直 人 株式会社 ア ク テ イ オ	取締役 代表執行役社長 中 村 茂 雄 味 の 素 株 式 会 社	代表取締役社長 小 栗 一 朗 NTP ホールディングス株式会社
代表取締役 横井 克一郎 NTP 名古屋トヨペット株式会社	代表取締役社長 斎 藤 英 樹 株 式 会 社 川 徳	代表取締役社長 宮 崎 悌 二 牛 乳 石 鹼 共 進 社 株 式 会 社
代表取締役社長 西 村 公 秀 神 戸 ト ヨ ペ ッ ト 株 式 会 社	代表取締役会長 本 坊 愛 一 郎 薩 摩 酒 造 株 式 会 社	代表取締役社長 舟 橋 正 剛 シ ヤ チ ハ タ 株 式 会 社
代表取締役会長 兼 CEO 兼 CCO 服 部 真 二 セ イ コ ー ウ オ ッ チ 株 式 会 社	代表取締役社長 社長執行役員 内 田 高 広 第 一 三 共 ヘ ル ス ケ ア 株 式 会 社	代表取締役社長 上 原 茂 大 正 製 薬 ホールディングス株式会社
代表取締役会長/CEO 芳 井 敬 一 大 和 ハ ウ ス 工 業 株 式 会 社	代表取締役 社長執行役員 大 久 保 裕 行 株 式 会 社 グ ス キ ン	代表取締役社長 執行役員 久 保 貴 義 チ チ ヤ ス 株 式 会 社
代表取締役 社長執行役員 風 間 淳 株 式 会 社 帝 国 ホ テ ル	代表取締役社長 渡 辺 訓 章 株 式 会 社 東 京 會 館	代表取締役会長 尾 崎 英 雄 株 式 会 社 フ ジ
取締役相談役 本 坊 修 本 坊 酒 造 株 式 会 社	代表取締役社長 谷 尾 一 也 明 治 屋 産 業 株 式 会 社	吉本興業ホールディングス株式会社 本店・大阪本部 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前11-6 東京本部 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-18-21
執行役員 メディア事業担当 戸 辺 久 之 朝 日 新 聞 社	取締役 営業統括 佐々木 美恵 産 經 新 聞 社	常務取締役 メディアビジネス統括 牧 江 邦 幸 日 本 経 済 新 聞 社

執行役員 営業担当・営業総本部長 平 地 修 毎 日 新 聞 社	取締役ビジネス局長 有 田 淳 読 売 新 聞 東 京 本 社	取締役メディアビジネス担当 小 山 仁 中 日 新 聞 社
代表取締役社長 田 川 大 介 西 日 本 新 聞 社	代表取締役社長 芳 見 弘 一 福 島 民 報 社	代表取締役社長 佐 藤 明 新 潟 日 報 社
代表取締役社長 矢 島 薫 岐 阜 新 聞 社	代表取締役社長 加 藤 令 史 愛 媛 新 聞 社	代表取締役社長 瑞慶山 秀彦 沖 縄 タ イ ム ス 社
代表取締役社長 普 久 原 均 琉 球 新 報 社	代表理事 萩 本 直 樹 聖 教 新 聞 社	代表取締役社長 堀 田 欣 弘 株式会社 アルバイトタイムス
代表取締役社長 野 間 省 伸 株式会社 講 談 社	代表取締役社長 相 賀 信 宏 株式会社 小 学 館	代表取締役社長 鉄 尾 周 一 株式会社 マ ガ ジ ン ハ ウ ス
代表取締役社長 檜 原 麻 希 株式会社 ニ ッ ポ ン 放 送	代表取締役社長 粕 谷 賢 之 株式会社 B S 日 本	代表取締役社長 浜 島 聡 株式会社 B S 朝 日
代表取締役社長 伊佐野 英樹 株式会社 B S - T B S	代表取締役社長 加 増 良 弘 株式会社 B S テ レ ビ 東 京	代表取締役社長 小 川 晋 一 株式会社 ビ ー エ ス フ ジ
代表取締役社長 辻 橋 清 和 福 井 放 送 株 式 会 社	代表取締役社長 松 波 啓 三 株式会社 C B C テ レ ビ	代表取締役社長 大 西 弘 美 長 崎 文 化 放 送 株 式 会 社

代表取締役社長 永井 祥裕 株式会社 I & S B B D O	代表取締役 社長執行役員 福地 献一 株式会社 朝 日 広 告 社	代表取締役社長 CEO 大山 俊哉 株式会社 A D K ホールディングス
代表取締役社長 中島 明美 株式会社 オ リ コ ム	代表取締役社長 石山 陽一 株式会社 京 橋 エ イ ジェン シ ー	取締役社長 横内 千明 株式会社 京急アドエンタープライズ
代表取締役社長 伊藤 義彦 株式会社 JR西日本コミュニケーションズ	代表取締役社長 石川 明彦 株式会社 ジェイアール東日本企画	代表取締役社長 小島 隆 株 式 会 社 昭 通
代表取締役社長 樋口 荘一郎 株 式 会 社 新 通	代表取締役社長 谷 鉄 也 株式会社 新 東 通 信	代表取締役社長 泉 恭 雄 株 式 会 社 大 広
代表取締役社長兼CEO 内 田 渉 株式会社 TBWA\HAKUHODO	取締役 代表執行役 社長 グローバルCEO 五十嵐 博 株式会社 電 通 グ ル ー プ	代表取締役 社長執行役員 佐 野 傑 株 式 会 社 電 通
代表取締役社長執行役員 黒田 俊介 株式会社 電 通 東 日 本	代表取締役社長執行役員 中 邨 正 人 株式会社 電 通 ラ イ プ	代表取締役 高橋 公比古 東 海 廣 告 株 式 会 社
代表取締役 社長執行役員 高坂 俊之 株式会社 東 急 エ ー ジェン シ ー	代表取締役社長 鐘ヶ江 弘章 株式会社 と う こ う ・ あ い	代表取締役 内 藤 好 之 株式会社 内 藤 一 水 社
代表取締役会長 長 田 一 郎 長 田 広 告 株 式 会 社	代表取締役社長 丹羽 信宏 株式会社 日 本 経 済 広 告 社	代表取締役社長 北村 真一郎 株式会社 日 本 経 済 社

代表取締役社長 西山 泰央 株式会社 博報堂DYホールディングス	代表取締役社長 名倉 健司 株式会社 博 報 堂	代表取締役社長 橋本 昌和 株式会社 博 報 堂 プ ロ ダ ク ツ
取締役会長 吉田 大士 表 示 灯 株 式 会 社	代表取締役社長 稲 川 一 株 式 会 社 文 宣	代表取締役社長 川田 博之 株式会社 メトロアドエージェンシー
代表取締役社長 菊地 英之 株式会社 読 売 広 告 社	代表取締役社長 古市 優子 ア ド テ ッ ク 東 京	代表取締役 小佐野 保 株式会社 ギ ー ク ビ ク チ ュ ア ズ
代表取締役社長 大 矢 諭 T O P P A N 株 式 会 社	代表取締役社長 河村 康宏 株式会社 フロンティアインターナショナル	



第5回「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」のご案内

全広連第三代理事長 鈴木三郎助氏の寄付金を基に平成19年度より制定された「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」「同・クリエイティブ大賞」は、令和4年度より「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」と変更して全面リニューアルし、今回で5回目となります。

地域の産業・経済・文化・スポーツに関する広告活動を通じて、日本各地の地域活性化に貢献した優れた広告コミュニケーション活動を顕彰することにより、地域活性化を促進することを目的とし、「フィルム・オーディオ部門」「プリント部門」「キャンペーン部門」「チャレンジ部門」の4部門で構成されます。

昨今、地域の広告活動においてWEBやデジタルツールの重要性が一段と増している背景を踏まえ、今回よりチャレンジ部門傘下に、「デジタルコミュニケーション特別賞」を増設します。これにより、従来通り各部門2点ずつ「部門賞」の贈賞と合わせて合計最大9作品に贈賞されます。

贈賞は、5月13日の第74回全広連静岡大会式典の席上で行われます。

鈴木三郎助
全広連地域
広告大賞

地域活性化に貢献した、優れた広告コミュニケーション活動を顕彰します。

- プリント部門
- フィルム・オーディオ部門
- キャンペーン部門
- チャレンジ部門

チャレンジ部門傘下に特別賞を増設

デジタル・WEBを使用した優れたコミュニケーション活動を
「デジタルコミュニケーション特別賞」として贈賞します！
※従来通り各部門2点ずつ「部門賞」の贈賞に加えて特別賞を1点増設

第5回「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」概要

部 門

- **プリント部門**
新聞、雑誌、ポスター等印刷されたもの
- **フィルム・オーディオ部門**
テレビCM、ラジオCM、WEB動画等の動画又は音声
- **キャンペーン部門**
メディアを問わず統一したコンセプトのもと展開したキャンペーン
- **チャレンジ部門**
表現成果物の有無を問わず、広報活動を含め、新規性又は独創性のある取り組みおよびデジタル・WEBを使用した優れたコミュニケーション活動

選考委員

選考委員会は外部有識者4名と全広連8ブロック代表委員8名で構成。

<外部有識者> (順不同)



田中里沙氏
事業構想大学院大学 学長



鷹薮愛郎氏
ソウルドアウト(株)
チーフクリエイティブオフィサー
エグゼクティブクリエイティブディレクター
フルファネルラボ代表



土橋通仁氏
(株)電通中部オフィス
クリエイティブディレクター
アートディレクター
ゼネラルマネージャー



今井美緒氏
(株)BBDO J WEST
クリエイティブディレクター
コピーライター

対象期間 2025年1月1日～12月31日に日本国内で放送、掲出、掲載された広告

応募締切 所属広告協会によって異なるため、詳細は所属広告協会まで

発 表 令和8年4月末(予定)

贈 賞 第74回全広連静岡大会式典上

主催・お問合わせ

公益社団法人全日本広告連盟 鈴木三郎助全広連地域広告大賞事務局

Mail: kokokusyo@ad-zenkoren.org

ADFEST 2026をタイ・パタヤで開催

ADFEST(アジア太平洋広告祭)が2026年3月19日(木)～21日(土)にタイ・パタヤで開催されます。



「human+」のテーマで、3日間にわたって様々なセミナー、少人数のワークショップ、ファイナリスト作品の講評セッションなどが催され、2、3日目の夜には、各賞の贈賞セレモニーが行われます。

全広連のホームページで作品応募要項の日本語版を掲出中ですので、出品をお考えの方はお早めにご覧ください！

ADFEST研修ツアー 参加者募集中！

申込は1月30日(金)まで！

全広連ホームページで
詳しくご紹介中！



ネットワーキングディナー(2025年)

全広連では、(公社)日本アドバタイザーズ協会様、(一社)日本アド・コンテンツ制作協会様の協賛のもと、ADFEST研修ツアーを企画・実施します。アジア太平洋最大級の広告祭、ADFESTが開催されるパタヤで熱気を直に感じてみませんか？

Young Lotus Workshop (YLW) 2026も開催

ADFESTに先駆けて30歳以下のクリエイティブワークショップ、YLW2026が3月17日(火)～19日(木)にタイ・パタヤで開催されます。アジア太平洋の各地域代表のクリエイターが2名1チームでワークショップに参加し、その後24時間で作品コンペに挑みます。

全広連では「日本代表チーム」を選出する国内選考を1、2月に二段階で行います。国内選考では、与えられた課題に基づいて制作された作品を審査し、優勝した1チームをYLW本選へ送り出します。パタヤでの本選に進むチームはどのペアになるのか？本選でどのような戦いを見せるのか？国内選考の経過と本選の結果については次号Spring号でご報告します。ご期待ください！



一次選考の審査員(2025年)

YLW2026国内選考の審査員 (順不同・敬称略)

- 鏡 明(ドリル)
- 佐々木 康晴(電通グループ)
- 佐藤 雄介(電通)
- 小山 真実(電通)
- 木村 健太郎(博報堂)
- 岡村 実玲(博報堂)
- 細川 万理(ADKマーケティング・ソリューションズ)

全広連の活動はウェブサイトでご覧になれます。

全広連





第74回全日本広告連盟静岡大会 2026年 5月13日(水) グランシップ

主催：第74回全日本広告連盟大会組織委員会 公益社団法人 全日本広告連盟



各地広告協会の動き (2025年)

東京

東京広告協会 令和7年度特別講演会

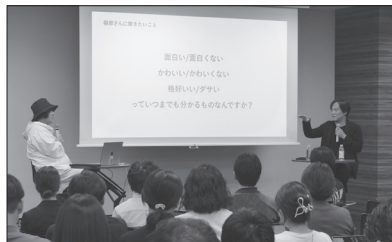
東京広告協会は、10月30日にクリエイティブディレクターの明円卓氏(株)ENTAKU produce)と福部明浩氏(株)catch)を迎えて、東京・新橋で令和7年度特別講演会を開催した。

第一部では「次世代代表」として明円卓氏が自身の活動について講演。数多く開催しているリアルイベントの紹介や新しいものを作り出すために工夫していることなどを語った。

第二部では、明円氏が「広告界の先輩」として対談を切望していた福部明浩氏にも登場してもらい、明円氏が聞きたかった質問に基づきトークセッションを繰り広げた。

「なんで新しいものを作り続けられるのか?」という明円氏からの問いに、福部氏は「世の中の色々なことが気になる。気になったら若手にも、その分野の専門の方にもインタビューしてどんどん聞く」と答えた。その聞く姿勢がずっと新しいものを作り続けられる秘訣のひとつかもしれないと結んだ。

140名が熱心に聴く中、定刻を越えても終わる気配がなく大いに盛り上がった。新しいものを採り入れる姿勢、互いに学びリスペクトしあう姿勢がトークセッションの端々から感じ取れ、「今日はいいい出会いになりました」と二人が熱く言葉を交わす姿が印象的だった。



大いに盛り上がったトークセッション

徳島

徳島広告協会 「公開セミナー」開催

徳島広告協会と徳島新聞アドクラブは10月28日、徳島市のテレコメディアホールで合同公開セミナーを開催、会員企業や一般聴講者約90人が参加した。講師は、博報堂コマースコンサルティング局ビジネスコンサルタント/地域DXソリューションチームリーダーの桑嶋剛史氏。「いま、モノを売るために求められる、SNSを活用したマーケティングとは?」をテーマに、SNSの口コミを活用して売り上げを伸ばす手法を紹介した。桑嶋氏は、商品の発売日や閉店日などのこまめな情報発信と顧客の感想への丁寧な返信が重要と強調。「口コミは購買行動に大きく影響を与える。フォロワー数の多さではなく、『ファンが薦めたいと思う企業』になれるかが鍵」と呼びかけた。また、口コミを書きたくなるような商品を目指し、新商品の開発に取り組んだ奈良県の酒造業者を紹介。牛乳で割るなど多様な飲み方をPRしたところ、写真と口コミが続々と投稿されて人気が高まったとして「知恵と工夫さえあれば成功できるのがSNSマーケティングだ」と話した。一方で、SNSには情報の信用度が低い面もあると指摘し、「認知度を高めるには、既存メディアの広告との両方の活用が有効」と語った。



講演する桑嶋剛史氏

高知

高知広告協会 第54回通常総会、記念講演会を開催

高知広告協会(会長・西山彰一高知商工会議所会頭)は6月13日、高知市で第54回通常総会を開催した。総会後には、博報堂執行役員で博報堂ケトルファウンダーの嶋浩一郎氏が「広告脳とPR脳 コミュニケーションプランニングにPR発想を!」をテーマに講演。県内の広告関係者ら約80人が参加した。

前半はマーケティングに必要な「インサイト」について。グーグルの求人広告や美魔女、リアル書店を例に、人間の潜在的な欲望に気付くには、日常の違和感に敏感であることが重要と説明した。

後半はPRを中心に、「違いを見つけると褒められる広告」「同じを見つけると褒められるPR」を分かりやすく解説。一方的に情報を発信する広告に対し、PRは第三者を巻き込み、合意形成を通じて新しい価値観を社会に浸透させる手法。男性の育児促進や民泊を事例に、複数のステークホルダーとの関係を構築し、それぞれの得意を同じ目標に向け発揮できるのがPRの強みと紹介した。

また、現代の消費者がブランドに対し社会的な役割を求める傾向が強いことに触れ、「これからの時代、商品・サービスを市場における優位性だけでなく、社会における役割までも語れるようになることが必要。同じを見つめるPR発想で、“社会の中での私”を語れることが、Z世代や応援してくれる仲間たちからの支持につながる」と締めくくった。



リアル書店の魅力を語る嶋浩一郎氏

福岡

福岡広告協会
セミナー実施報告

去る2025年11月16日、福岡広告協会は
広告セミナーを開催。DAZN JapanのCEO
である笹本裕氏が登壇し、「DAZNが描く
スポーツ視聴体験の未来と喜怒哀楽に
寄り添う広告体験」と題して、テクノロジーが
切り拓く広告の新たな可能性を語った。

リクルートやTwitter Japan代表などを
歴任した笹本氏は、AIの進化がメディアの
あり方を根本から変えると指摘。その中で
DAZNは、直近で視聴者数を3倍に伸ば
すなど急成長を遂げており、その背景には
高いエンゲージメントと消費意欲を持つ
スポーツファンの存在があると分析した。

講演の核心は、AIを活用した革新的な広
告手法「ブランドプレイアドバタイジング」だ。
試合中の視聴者の「喜怒哀楽」といった感
情をAIがリアルタイムでスコア化(GES)し、
その瞬間に最も響く広告をL字広告やSNS
拡散機能「モーメントブースター」などで
提供する。これにより「広告はもはや邪魔な
ものではなく、感動を共有する観戦体験の
一部になる」と笹本氏は語り、ブランドへの
強い共感を育むことができると力説した。

さらに、日本発のコンテンツをアジアへ
展開する「和製外資」としてのビジョンにも
触れ、グローバルな連携の重要性も示唆
された。参加者は、スポーツとテクノロジーが
織りなす広告の未来像に熱心に耳を傾け、
メディアのあり方が問われる現代において、
非常に示唆に富むセミナーとなった。



2025 福岡広告協会セミナー

CLIP BOARD

INFORMATION

加盟各地広告協会 人事

〔順不同・敬称略〕

全北海道	〈会 長〉安田光春（札幌商工会議所 会頭）	11/4付
	〈理 事 長〉堀井友二（株式会社北海道新聞社 代表取締役社長）	7/3付
新潟	〈会 長〉廣田幹人（新潟商工会議所 会頭）	11/4付
熊本	〈理 事 長〉毛利聖一（株式会社毎日新聞社 取締役）	11/19付
	〈専務理事〉森本康裕（株式会社放送 取締役営業局長）	11/19付

事務局長就任

〔順不同・敬称略〕

沖縄	嶺井泉輝（株式会社エフエム沖縄 総務部 役員室長）	5/23付
----	---------------------------	-------

事務局移転

京都	604-8567 京都市中京区烏丸通六角下ル ONEST京都烏丸スクエア	9/16～
沖縄	901-2525 浦添市小湾40 株式会社エフエム沖縄内	5/23～

新入会員社紹介

〔敬称略〕

全広連（賛助会員）	■EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株)
山形	■(株)ジェイアール東日本企画 仙台支社山形支店 仙台支社長 奥村聡子 ■(株)ダイバーシティメディア 代表取締役社長 吉村和文 ■(株)ニューメディア 代表取締役社長 金子敦 ■TD Japan(株) 代表取締役社長 藍信彰 副社長 高木茂
東京	■(株)Hakuhodo DY ONE 代表取締役社長 小坂洋人 ■(株)allview 代表取締役社長 山崎真幸 ■(株)共同通信デジタル スポーツDCX部 部長 田中孝幸 ■(株)士教育 代表取締役 犬塚壮志 ■ノウンス(株) 代表取締役 田中啓志朗 ビジネス本部 アライアンス事業統括 堤智久 ■(株)博展 代表取締役 社長執行役員 COO 原田淳 執行役員(EXM事業担当／商環境事業／サステナビリティ) 福田雄之 ■(株)メディア・グローブ 代表取締役社長 小田直人
静岡県	■エージェントステージ(株) 代表取締役 柴田直人
愛知	■(株)ゲイン 取締役社長 犬塚大志
神戸	■(株)コアラプロダクション 代表取締役 伊賀上将司 取締役 伊賀上恵
広島	■Under Brush(株) 今上 憲一

【お 願 い】

会員の交代や役職の変更等で、機関誌「全広連」の発送先が変更が生じた場合は所属広告協会事務局へご連絡をお願いします。

全広連の活動はウェブサイトでご覧になれます。

全広連

🔍👉